

自然エネルギー上小ネット

令和2年度 定時総会（第9回）

新型コロナの感染拡大防止のため理事による書類での表決
令和2年6月29日（月）

検討事項

第1号議案 令和1年度 事業報告

第2号議案 令和1年度 収支決算報告ならびに監査報告

第3号議案 理事及び運営員会名簿

第4号議案 令和2年度 事業計画（案）

第5号議案 令和2年度 収支予算（案）

第6号議案

部会の令和元年度報告及び令和2年度の抱負

- ・バイオマス部会 報告及び事業計画
- ・省エネ部会 報告及び事業計画
- ・太陽光部会 報告及び事業計画

その他 自然エネルギー上小地域協議会 会則

自然エネルギー上小ネット チラシ

第1号議案

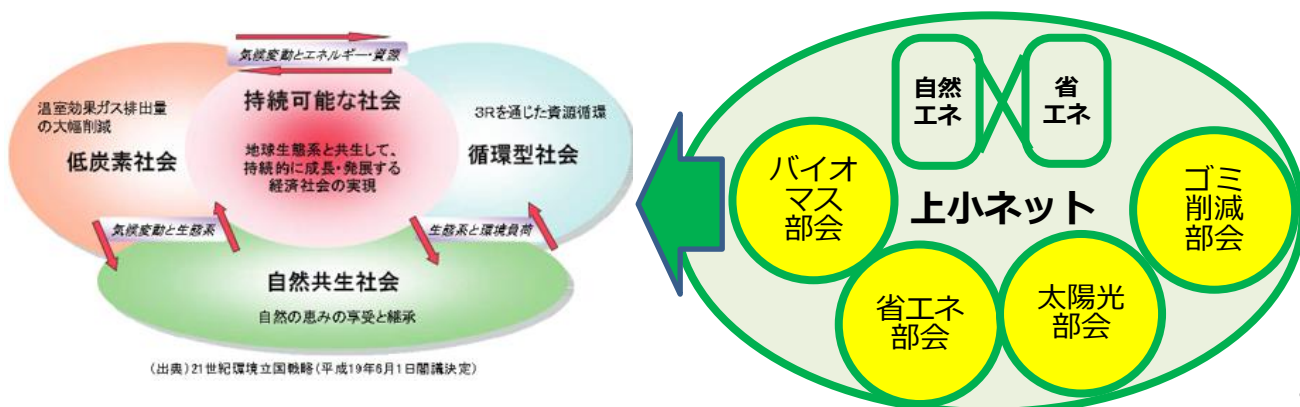
令和1年度 自然エネルギー上小ネット（協議会） 事業報告

1. 自然エネルギー上小ネットの活動

- ・平成29年度、マンネリ化から抜け出すために、“自然エネ”と“省エネ”の「啓発型協議会」から部会の自主活動を重視した「行動型協議会」へと脱皮しました。
- ・令和2年度の総会について、
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2年度は、総会のご案内ができない状況にて、理事のみで、書面による評決を行うことにしました。手順として、総会資料（案）作成→運営委員会で検討承認→総会資料（案）及び検討表を理事に送付→書面にて表決（6/29 予定）と進めます。
- ・令和1年度の事業について（第1号議案）、
6月の総会において、長野県環境エネルギー課と「我々と行政でできること」をテーマにワークショップを行いました。情報部会は、9月及び11月にバイオマス部会、2月に省エネ部会の主催で開催しました。参加人員は、平成30年111名（4回）、令和1年95名（4回）でした。
- ・令和2年度の事業について（第4号議案）、
年初から世界的な新型コロナウイルスに振り回され、緊急事態宣言が解除されましたが、長期的な見守りが必要で、当面、従来タイプの不特定多数によるイベント開催は難しい状況かと思えます。開催の目途はつきませんが、バイオマス部会、省エネ部会の方向づけを示します。
- ・収支決算の状況について（第2号議案、第4号議案）、
会費運営を行っています。団体会員がゼロ、個人会員のみの収支となります。令和2年度も同じ状況です。情報交流会は、信州環境カレッジに参加し、補助金を活用し運営しました。令和2年も信州環境カレッジを活用したいと思います。
- ・会員及び役員について（第3号議案）、
正会員は23名、オブザーバー（行政、学校、議員）12名。新規会員募集は、イベント時にチラシの配布が中心に行っています。理事の人事は、退任2名、新任2名です。令和2年度は役員改選の時期ですが、不安定な時期に役員改選は適当でないとの意見もあり、継続とします。監事が欠員になったため、補充します。

自然エネルギー上小ネット コンセプト

“自然エネ活用”と“省エネ”の官民協働「行動型協議会」
上小ネットは、SDGsを視野に持続可能な社会を目指します。



2. 設立から今日までの活動概要

沿革

- 1) 平成24年2月4日、自然エネルギー信州ネットの地域協議会（ネットワーク型）として自然エネルギー上小ネットを設立した。
- 2) 平成24年度、毎月情報交流会を開催し、自然エネルギーの活用と省エネルギーの重要性について啓発活動を行った。
- 3) 平成25年度、情報交流会を年間6回とし、分科会を募集し、4つの分科会活動を始めた。
- 4) 平成26年度、分科会活動が活性化し、地域貢献を目指す形ができてきた。
- 5) 平成27年度、「新しい公共」に基づく官民協働を活かし、環境に関連する他の団体とも交流した。
- 6) 平成28年度、COP21を受けての地球温暖化対策において、我々のできることを模索した。
- 7) 平成29年度、「啓発型協議会」から部会の自主的活動を重視した「行動型協議会」へと変えた。
- 8) 平成30年度、自主的活動を重視した「行動型協議会」を目指した。
- 9) 令和1年度、SDGsを視野に持続可能な社会を目指す高い目標設定が必要となった。
- 10) 令和2年度、新型コロナウイルス後の活動計画の見直し、新しい形の検討を行う。

企画運営委員会

<p>平成31年 3月19日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総会（仮6/15） 講演とWS（自然エネと省エネ、我々に何ができるか） 講師：県エネルギー課温暖化対策） ・情報交流会 年4回予定する 第41回（11/9 バイオマス部会）、第42回（1/?省エネ部会） 第43回（2/8 省エネ部会） ・上小ネットコンセプト確認（チラシ）承認 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・信州環境カレッジの補助金活用 ・上田環境審議会委員 ・省エネ部会でエコアクション21（環境省のEMS）のビジネスモデル支援 ・おいしい水を広める市民の会の紹介 ・信州ネット活用できないか
<p>令和1年 7月17日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第40回情報交流会 企画：バイオマス部会 川田 ・地表の水は14億km³、自然エネルギー（水力）資源は地球体積の0.13%その内、人間の使える河川水は0.4%、水の地球規模の循環や生物浄化を学ぶ ・講師は、信州大学名誉教授 中本 信忠氏、 地圏テクノロジー創業・技術士、西岡 哲氏 ・信州カレッジ補助金活用 ・パンフの検討、広報活動の分担、事前準備の打合せ
<p>令和1年 9月11日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第41回情報交流会 企画：バイオマス部会 川田 ・エネルギーの地産地消は、資源（バイオマス）も機械（ボイラー）も地元からバイオマス部会と上田バイオマスボイラー事業団（㈱長岡鉄工所、㈱太田鉄工所、エコ屋・後生楽）が開発しているバイオマスボイラーの燃焼実証の見学 ・信州大学繊維学部 高橋 伸英教授の研究レポート「地域のバイオマスエネルギーの可能性を評価し実用を促進する」の展示 ・パンフの検討、広報活動の分担、事前準備の打合せ

3. 令和元年度事業

1) エネルギーカフェ

上田駅前パレオ4階、上田情報ライブラリーエントランスホールに自然エネルギー上小ネットの広報を目的に、自然エネルギー関連パンフの展示棚を設置し、情報交流会等のチラシの展示

2) 令和1年 情報交流会

<p>2019年 総会 6月29日(土) 13:30~15:30 参加者 21名 企画:末広</p>	<p>★総会 13:30~14:00 総会 ★講演、県環境課と市民のワークショップ 14:10~14:30 講演会 講演「長野県環境エネルギー戦略の進捗状況について」 環境エネルギー課温暖化対策係 主任 宮坂 真司氏 14:30~15:30 全員参加のワークショップ 我々と行政がどのような共通認識を持つか ファシリテーター 末広 繁和</p>
<p>第40回 9月7日(土) 13:30~15:30 参加者 32名 企画:川田</p>	<p>★水を学べば、自然エネルギーも解る 13:35~14:20 講演「生物浄化法による安全な飲料水の普及」 信州大学名誉教授 理学博士・生物学 中本 信忠先生 14:25~15:10 講演「様々な水問題の解決に必要な地球規模の水循環の解析!」 (株)地圏環境テクノロジー創業・現相談役 西岡 哲先生 15:10~15:30 質疑応答・意見交換 バイオマス部会長 川田 富夫</p>
<p>第41回 11月9日(土) 13:30~15:30 参加者 18名 企画:川田</p>	<p>★エネルギーの地産地消は資源(バイオマス)も機械(ボイラー)も地元から 13:30~15:00 実演「地元製バイオマスボイラーの燃焼実証会(長岡鉄工所構内)」 地域に眠る未利用バイオマスの高効率熱利用の実現 上田バイオマスボイラー製造企業団 (有)長岡鉄工所、(有)太田鉄工所、エコ屋・後生楽) 研究ポスター報告「地域のバイオマスエネルギーの可能性と実用促進」 信州大学繊維学部 高橋 伸英教授 15:00~15:30 質疑応答・意見交換 バイオマス部会長 川田 富夫</p>
<p>第42回 2月8日(土) 13:30~15:30 参加者 24名 企画:末広</p>	<p>★地球温暖化防止への適応策 自然災害から会社と社員を守るためのセミナー 13:30~13:50 講演「ハザードマップの使い方と警戒レベルへの対応」 上田市総務部危機管理防災課 主査 笠井 満氏 13:50~14:50 講演「自然災害から会社と社員を守る、平時行う活動や緊急時における 事業の継続、早期復旧を可能にする方法、手段の計画について」 「長野県BCP策定支援プロジェクト」 東京海上日動火災保険株式会社 長野支店営業課課長 岩破 幸平氏 14:50~15:20 講演「全社員10名のプレス業で取組むBCP、 顧客へ「安心」と「信頼」の提供」 有限会社 中澤製作所 代表取締役 中澤 洋一氏 15:20~15:30 質疑応答・意見交換 省エネ部会 末広 繁和</p>

3) 上田情報ライブラリー連携事業 無料経営相談

- ・上田情報ライブラリーにて、随時開催、予約制 申込先 0268-29-0210)
- ・経営相談
- ・自然エネルギー活用・省エネの進め方相談
- ・環境マネジメントシステム (ISO、EA21) の進め方・活用相談

6) 官民協働事業

- ・上田市環境審議会 審議会委員として参加 上田市環境基本計画の審議
- ・うえだ環境市民会議 企画委員
- ・信州環境カレッジに参加、情報交流会の補助金申請、採択

5) 自然エネルギー上小ネット情報発信

1) 上小ネット 担当 栗田 riki@taiyoriki.com

<https://www.facebook.com/ZiRanenerugiShangXiaonetto>

「いいね」で盛り上げてください。

2) 上小ネットホームページ 担当 末広 ssyslab@gmail.com

<http://syslab.sakura.ne.jp/ene.htm>

各自の情報発信に活用してください。

第 40 回情報交流会



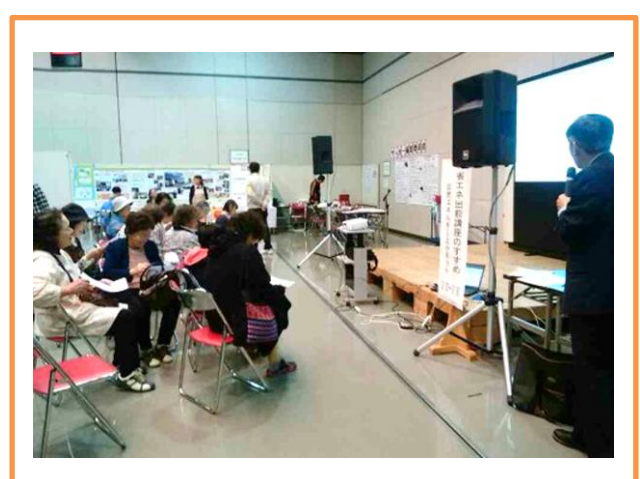
第 41 回情報交流会



第 42 回情報交流会



真田地域消費生活展



第2号議案

令和1年度 収支決算報告ならびに監査報告(案)

第 号議案				
令和1年度 収支決算報告ならびに監査報告				
令和1年度 自然エネルギー上小ネット 決算報告				
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)				
収入の部				単位
科目	R1予算額(a)	R1決算額(b)	増減b-a	備考
前期繰越金	31,183	31,183		
会費 個人	15,000	15,000	0	1000-×15人
会費 団体	10,000	0	-10,000	
補助金	6,000	12,000	6,000	振興事業団
寄付金	0	0		
研修参加費	0	0		
雑収入				
合計	62,183	58,183	-4,000	
支出の部				単位 円
科目	R1予算額(a)	R1決算額(b)	増減b-a	備考
情報交流会 4回/年	10,000	0	-10,000	
学習会、視察 1回/年	0	0	0	
部会補助金	20,000	10,000	-10,000	2部会活動費
事業化支援 プロジェクト外支援	0	0		
事務消耗品 ワーク消耗品	3,000	213	-2,787	封筒
事務費	3,000	1,722	-1,278	通信費
總會・運営会議費	5,000	1,150	-3,850	
上小ネットパンフ レット作製費	10,000	0	-10,000	
予備費・次期繰越	11,183	45,098	33,915	
合計	62,183	58,183	-4,000	
令和1年度監査報告書				
自然エネルギー上小ネットの会計収支計算書、領収書等は会計帳簿の				
記載通り監査を行い間違いのないことを認め報告いたします。				
令和 2年 5月 6日				
監査人 <u>深崎茂利</u> 				

3号議案 理事及び運営委員会名簿 ~~（案）~~

自然エネルギー上小ネット 役員名簿 2020.6.15

役員	会員 登録	氏名	
会長 理事	運営委員 個人	末広 繁和	ブレイクスルー研究会
副会長 理事	運営委員 個人	川田 富夫	エコ屋・ごしょうらく ＜バイオマス部会長＞
副会長 理事	運営委員 個人	栗田 力	太陽力株式会社 ＜太陽光部会長＞
会計 理事	運営委員 個人	荻原 静夫	
理事	個人	藤川 まゆみ	NPO 法人上田市民エネルギー
理事	個人	太田 厚	太田鉄工所
理事	個人	武重 直	
理事	運営委員 個人	宇野 親治	ブレイクスルー研究会 ＜省エネ部会長＞
理事	個人	沼田 清	長野県地球温暖化 防止活動推進員
新 監事	運営委員 個人	新田 詔三	ブレイクスルー研究会
新	運営委員 個人	合原 亮一	NPO 法人上田市民エネルギー

※ 正会員は23名、オブザーバー（行政、学校、議員）12名。理事11名、運営委員7名

※ 退任 監事 柴崎 茂利氏

退任 竹花 伍男氏

※ 新任 合原 亮一氏

新任 新田 詔三氏

第4号議案 令和2年度事業計画(案)

1) エネルギーカフェ

上田駅前パレオ4階、上田情報ライブラリーエントランスホールに自然エネルギー上小ネットの広報を目的に、自然エネルギー関連パンフの展示棚を設置し、情報交流会等のチラシの展示

運営委員会

2020. 1. 27	<p>第42回情報交流会 企画；省エネ部会 末広</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策としては、低炭素に社会に向けた緩和策と災害へ備える適応策がある。適応策としてのハザードマップの見方、会社と社員を守るための計画の作り方、台風19号で事業継続緊急事態計画を発動した事業所事例を学ぶ。 広報活動の状況報告、事前準備の打合せ <p>基本コンセプトの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 上小ネットはSDGs（持続可能な開発目標）を視野に持続可能な社会を目指す。 地球温暖化防止活動（CO2削減が目的）を通して、次世代（若者の未来）へ引き継ぎたい。 そのために「自然エネ活用」と「省エネ」の官民協同「行動型協議会」で活動する。 各部会活動（啓発から事業化へ）の発表の場として情報交流会を行う。 <p><課題として、></p> <ul style="list-style-type: none"> 県、市、上小ネットの関わり合い（協同）が分からない。 若者（高校生、大学生）との接点がない。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 総会日程、6月中旬土曜日、理事及び運営委員、役員人事の見直しを計画する。 6/15 上田環境市民会議 SDGsセミナーの紹介
2020. 3. 13	新型コロナウイルスの感染防止のため中止
2020. 6. 6	<p>新型コロナウイルスの感染拡大の防止の観点から、理事のみを対象として、総会資料を送付し書面にて表決を行うことにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事の継続・辞退の確認 運営会議（メール）で、理事、役員推薦、総会資料の承認 (6/9～6/13) 理事へ総会資料の郵送、質問・意見をメールで募集 (6/16～6/20) 質問・意見への回答 (6/23～6/27) 書面（総会資料）の評決 (6/29)

2) 令和2年 情報交流会 (予定)

2019年 総会 企画：未広	★総会 (6/6 会合は中止) 新型コロナウイルスの感染予防の観点から、人の集まる総会は開催せず、理事及び理事役員 (運営委員) による総会資料による書類表決を行います。 評決は6月29日予定
第43回 コロナ関連で未定 企画：川田	★バイオマス部会 川田 ・バイオマスボイラーの開発状況 ・ロケットボイラー足湯イベント
第44回 コロナ関連で未定 企画：宇野	★省エネ部会 宇野 ・省エネとSDGsの運用2本立ての講演会 ・エコアクション21 (環境省の環境マネジメントシステム) の講習

3) 上田情報ライブラリー連携事業 無料経営相談

- ・上田情報ライブラリーにて、随時開催、予約制 申込先 0268-29-0210
- ・経営相談
- ・自然エネルギー活用・省エネの進め方相談
- ・EMS (ISO、EA21) の進め方・活用相談

4) 官民協働事業

- ・上田市環境審議委員会 審議会委員として参加 上田市環境基本計画の審議
- ・うえだ環境市民会議 企画委員
- ・信州環境カレッジに参加、情報交流会の補助金を申請する。

5) 自然エネルギー上小ネットの情報発信

- 1】上小ネット 公式フェイスブック 担当 栗田 riki@taiyoriki.com
<https://www.facebook.com/ZiRanenerugiShangXiaonetto>
「いいね」で盛り上げてください。

変更

従来、使用のホームページでの発信は終了し、公式フェイスブックにて情報発信します。

第5号議案 令和2年度 収支予算—(案)

第5号議案				
令和2年度 収支予算案				
令和2年度 自然エネルギー上小ネット 収支予算(案)				
(R2年4月1日～令和3年3月31日)				
収入の部				単位 円
科目	R1決算額(a)	R2予算額(b)	増減 a-b	備考
前期繰越金	31,183	45,098	13,915	R1年度から繰越
会費 個人	15,000	15,000		個人1,000円×15名
会費 団体	0	0		
補助金	12,000	6,000	-6,000	
寄付金	0			
研修参加費	0			
雑収入	0			
合計	58,183	66,098	7,915	
支出の部				単位 円
科目	R1決算額(a)	R2予算額(b)	増減 a-b	備考
情報交流会 4回/年		10,000	10,000	4回/年、資料印刷費ほか
学習会、視察 1回/年	0			施設見学・学習会費
部会補助金	10,000	15,000	5,000	活動経費
事業化支援 プロジェクト支援	0			
事務消耗品 ワーク消耗品	213	1,000	787	事務消耗品
事務費	1,722	2,000	278	通信費他、
総会・運営会議費	1,150	2,000	850	資料・会議室借代
上小ネットパンフ レット作製費		10,000	10,000	広報関係
予備費	45,098	26,098	-19,000	
合計	58,183	66,098	7,915	

第6号議案 部会活動の令和1年度の報告と令和2年度の抱負

バイオマスエネルギー部会報告

項目	内 容
部会の名称	バイオマスエネルギー部会
代表者	川田 富夫
連絡先 住所 TEL 棟	上田市山田 553-1 エコ屋・ごしょうらく 川田富夫 0268-38-0875、090-4544-8875
メール	tom-gosyouraku@po15.ueda.ne.jp
部会の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちはエネルギーの地産地消（自立）を推進します ・豊かな信州の山（森林）の木質バイオマスの有効利用を推進します ・森林の役割（水循環, 生態系, 炭素固定, 空気バランス, 景観癒し）を理解し森林の成長量（バランス）も把握し持続可能な利用を提言します ・地産, の為、原木森林業から材加工、供給までの地域内システム構築を提言します ・地消, の為、利用方法、範囲の拡張を研究、ボイラー開発など機器の地元生産も推奨 ・木質資源の高効率利用を目指す熱利用を主眼とします

<R1 年度事業報告>

実施月	イベント内容
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・上小ネット情報交流会 第 40 回 ; 「水を学べば自然エネルギーも解る」、講演 1・『生物浄化法による安全な飲料水の普及』中本信忠信州大学名誉教授、講演 2・『様々な水問題の解決に必要な地球規模の水循環の解析！』西岡哲（株）地圏環境テクノロジー相談役
11 月	第 41 回 ; 「エネルギーの地産地消は資源（バイオマス）も機械（ボイラー）も地元から」、Pg1・『地元製バイオマスボイラーの燃焼実証会！』長岡鉄工所 太田鉄工所 エコ屋ごしょうらく、Pg2・『地域のバイオマスエネルギーの可能性と実用促進』信大繊維学部 高橋伸英教授のポスター報告

<R2 年度事業計画>

実施月	イベント内容
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・上小ネット情報交流会 ・ロケットボイラー足湯イベント（コロナ禍集会等自粛にて予定有りません）

省エネ部会 活動報告

項目	内 容
部会の名称	省エネ部会
代表者	宇野 親治
連絡先 住所 TEL 等	384-0802 小諸市乙4 6 8 - 8 Tel 0267-23-2893 携帯 080-5144-2893 Fax 0267-23-2893
メール	uno2893oyaji@ctknet.ne.jp
部会の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上小地域から、家庭・事業所から排出される CO2 を削減するために、省エネの実践者・専門家の育成と省エネの啓発、診断の出前講座を行うことにより、エネルギーの地消地産を推進する。 ・ 小規模事業者向けに、エコアクション 21 の認証取得の支援を行い、「より良い企業」「社員が生きがいのある企業」目指して、応援いたします。 ・ 地域貢献と自己実現したいシニアメンバー活躍の場を提供する。

<元年度事業報告>

元年度の実績	活動内容
11月9日(土)	東御市くらしを見直そう展 東御市中央公民館 70人
11月16日(土)	丸子消費生活展で省エネ出前講座 丸子文化センター 85人
11月30日(土)	環境をよくしたい人大集合 塩田公民館 22人
2月8日 第42回情報交流会の企画	地球温暖化対策の災害へ備える適応策の知識と事例発表 24名 「自然災害から会社と社員を守るセミナー」
2月23.24日(土日)	第35回文化創造祭 上田市文化センター 15人

<令和2年度事業計画>

令和元年度の戦略	活動内容
家庭及事業所向け 節電・節約支援	① 出前講座の具体的日程はまだ決まっていますが、自治会2件、小規模企業3件の予定をしております
情報交流会の企画	② 省エネとSDGsの運用の二本柱で講演会を開催する
小規模事業所への 支援	③ EA21 コンサル講習会2回の開催

太陽光部会

項目	内 容
部会の名称	太陽光部会
代表者	栗田 力
連絡先 住所 TEL 棟	〒386-0001 上田市上田 3176-6 0268-55-8155(090-9870-8049)
メール	riki@taiyoriki.com
部会の特徴	太陽光発電の実績検証と将来性に対する研究。 特に独立型太陽光発電について、より身近で親しみやすい、安価な商品開発について考察する。同時にリチウムイオン電池等蓄電池とのコラボについてより具体的なセットアップについて提言してゆく事としたい。 自然エネルギーの本来の利用の推進、拡大は「小規模・分散型」であるとの認識に基づ部会として活動してゆく事と致したい。

<令和1年度事業報告>

実施月	イベント内容
	情報交流会出席の他は、特に活動無し

<令和2年度事業計画>

実施月	イベント内容
2月	長野;長府工産(株)蓄電池セミナー出席
3月	岡山;アロイ工業(株)蓄電池工場視察
4月	大阪;エスコエナジー(株)、エコフューチャー(株)組立工場視察
6月予定	高松; 四国環境パートナーシップオフィス
9月予定	第43回自然エネルギー100%社会学習会出席 東京ジェルコム(株)電子ブレーカーサミット出席 ;

自然エネルギー上小地域協議会 会則

(名称)

第1条

本会の名称を「自然エネルギー上小ネット（仮称）」とする。

(事務所)

第2条

本会の事務所を、会長宅（住所 氏名 TEL） 内におく。

(目的と活動内容)

第3条

本会は、地域内において、地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及及び自然エネルギーを活用した地産地消による持続可能な地域づくりと CO2 削減の啓蒙活動を目指す。下記の活動をすすめるために多様な主体の連携と対話を図りながら、総合的な調整を行なうための協議組織である。

- ①地域の自然エネルギー及び省エネに関連する団体・企業・個人らの対話促進
- ②上記の協働による県民への普及啓発活動
- ③ 自然エネルギー普及に向けた政策手法の検討・提言
- ④ 自然エネルギー普及モデル構築のための調査検討
- ⑤地域と連携したパイロット事業の実施及び支援
- ⑥家庭から企業までの省エネ活動の啓蒙支援を行う
- ⑦パイロット事業支援及び省エネ支援のための人材育成
- ⑧その他、上記の目的を達成するために必要な活動

(地域連携・支援)

第4条

本会は、地域の多様な主体の連携と対話を図りながら、地域の実践活動の情報交換、地域の自然エネルギー資源を生かした自然エネルギー普及モデル事業を検討し、事業を支援する。また、自然エネルギー信州ネットと連絡調整を図り、全県的な連携の下に活動を展開する。

(専門部会及び分野間連携・支援)

第5条

本会に部会を置き、各分野及び分野を横断した専門的な知見の交流とともに、専門的技術やノウハウをもつ集団が地域における実践活動を支援する。

(会員)

第6条

①本会の目的に賛同する個人、団体、企業及び行政機関等が会員になることができる。会員は本会の目的が達成できるようにそれぞれの所属の領域において努力する。会員は会長に申し出ることによって任意に入退会することができる。

②反社会的な活動を行なう団体やこれに従事する者は会員となることができない。

(役員)

第7条

①【会長】全体の調整。統括役として会長(1名)を運営会議の推薦により、総会の議決を経て選任する。

②【副会長】会長は副会長(若干名)を会員の中から選任することができる。副会長は、会長を補佐し、会長不在時に代行する。

③【理事】会員の申し出を受け、かつ会長が推薦するものを、総会の議決を経て理事に選任する。理事は運営会議において議決権を有する。

④【会計】家計は当会の会計経理処理業務を行う。

⑤【監事】監事は、当会の事業及び経理を監査する。また、監事は、運営会議の推薦により、総会の議決を経て選任する。会長は監事が必要と判断した場合は運営会議を招

集しなくてはならない。

⑥ 【顧問】会長は、本会の運営のため専門的な助言を得る必要がある場合は、顧問(若干名)を選任することができる。

⑦ 【任期】すべての役員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、役員に欠員が生じた場合、会長が必要と認めた場合は、運営会議の承認を経て、補充することができるが、その任期は前任者の残任期間とする。

(組織運営)

第8条

① 【総会】通常総会は年1回、会長の招集により開催する。総会は、会員(委任状出席を含む)の過半数で成立する。総会では、年次計画と予算の決定、年次報告と決算の承認、規約の改廃、役員を選任などについて、出席会員の過半数により議決する。

② 【運営会議】運営会議は、会長が招集し、理事の過半数により成立する。運営会議の議事は理事の互選により選任された議長が執り行う。運営会議では、年次計画の執行、部会の設置、予算執行、会長・監事の推薦等に係る協議を行う。会員は運営会議に出席して発言できる。運営会議における意思決定は理事の過半数により行なうが、少数意見を最大限尊重し、会員の総意となるように努力しあう。

③ 【事務局】本会の日常的な業務は事務局が行う。会長は、事務局長を選任することができる。

④ 【オブザーバー】本会の会議には、必要に応じてオブザーバーを置くことができ、会議において意見を述べることができる。会長は、オブザーバーを選任することができる。

⑤ 【公開原則】総会及び運営会議は原則公開で行なう。また、本会の業務にかかる資料は求めがあればいつでも開示することができるようにする。

(財政)

第9条

本会の経費は、年会費(個人会員、法人会員)、寄附、補助金、受託金、寄付金、その他の収入(参加費等)により支弁し、監事の指導のもと適正な財政運営をすすめる。

年会費は、個人会員1,000円、法人会員10,000円とする。

(事業年度)

第10条

本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとし、年度の終了後3ヶ月以内に、事業報告書と収支決算書について、監査を受けた後、運営会議の承認を得ることとする。

(解散)

第11条

総会の総意により本会を解散することができる。解散時に残預金がある場合は解散時の総会によって処分を決定することとする。

(付則)

第12条

運営会議は、本規約のほかに必要な事項について定めることができる。

付 則

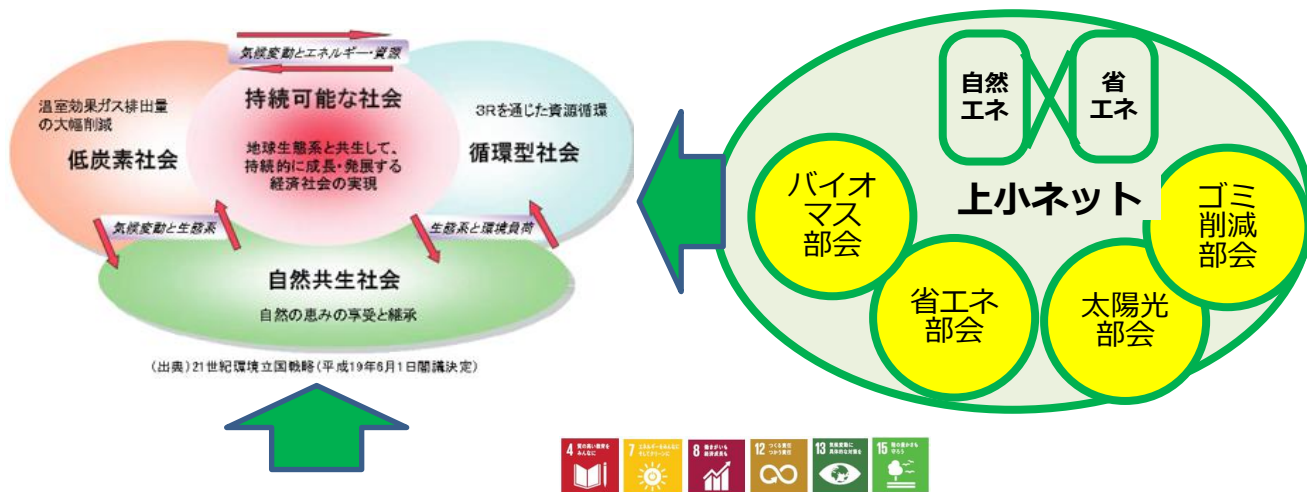
1. 第10条の規定にかかわらず、この会則は、第1回総会の議決を経た直後より発効する。

この会則は、平成24年2月4日から施行する

自然エネルギー上小ネット

“自然エネ活用”と“省エネ”の官民協働「行動型協議会」

上小ネットは、SDGs を視野に持続可能な社会を目指します。



生涯学習の機会		持続可能な開発を促進するために部会活動や交流会を通して、必要な知識及び技能を習得する機会を提供する。
再生可能エネルギーの活用		自然エネルギーの活用を通して、再生可能なエネルギーの割合を増やし、エネルギーの効率的利用を支援する。
働き甲斐のある雇用		「一人ひとりが稼げる組織づくり」を目指し、働きがいのある組織づくりと一人当たり生産性の向上を支援する。
持続可能な生産消費形態		PDCA による EMS の導入を促進し、化学物質の適正管理、3 R による廃棄物の発生と削減を支援する。
気候変動への対応		気候変動に関する適応策及び緩和策の情報提供を行い、気候変動の影響を軽減するための啓発活動を行う。
森林管理、生物多様性		生物多様性、生態系の保全と持続的な利用を目指し、里山等のバイオマスエネルギー活用を促進する。

＜部会による自立的事業活動＞

- ・自然エネ、省エネ、EMS、地球温暖化防止活動 講師派遣
- ・自治会、任意団体、小規模企業への省エネ 笑いエコ 出前講座
- ・上田情報ライブラリーと連携 経営相談、自然エネ・省エネ相談
- ・“家庭の省エネエキスパート検定”の予備講座開催（専門家育成）

自然エネルギー上小ネット（上小地域協議会） 会長 末広繁和
 〒386-0043 上田市下塩尻 405-9 TEL 090-1533-2072
 Mail ssyslab@gmail.com <http://syslab.sakura.ne.jp/ene.htm>

薪ボイラー、ロケットストーブの開発 バイオマス部会 太陽光部会 ゴミ削減部会



薪ボイラー紹介と足湯体験



長野大学学生と里山再生コラボ



独立型太陽光発電 非常電源用、レジャー用



生ゴミ乾燥機



小水力発電

無料 省エネ出前講座 省エネ部会

- ①自治会・団体向け：家庭の省エネ出前講座
- ②シニア向け：笑い楽しく、クイズで「笑いエコ」
- ③企業向け：省エネ出前講座、省エネ診断

申込・問合せ 080-5144-2893 (宇野)



- ・ 出前時間 15分～60分
各種会議のついででも可
3人以上多ければうれしい
- ・ 派遣は無料です。
- ・ 出前会場の準備をお願いします
- ・ 楽しい「笑いエコ」も可

上小ネットは会員制です 会員申込書

申込・問合せ 090-1533-2072 (末広)
Fax 0268-28-4525 ssyslab@gmail.com

<会員種類>

- 個人会員 年会費 1,000円
- 団体会員 年会費 10,000円
- 賛助会員 1口 10,000円
- わがザンバー会員 無料
(行政、学校関係者)

<参加ご希望の部会活動>

<啓発・広報活動>

※部会は運営委員会の承認で作れます。

ふりがな	Tel
氏名	携帯
	メール
所属団体	
住所	
自己紹介やPR	